

常連チームの誇りを胸に ロボコン全国大会で活躍したい。



I am a leader

機械・電気・制御の3班でロボットを製作。

NiAS夢工房は、全国の大学が参加するロボットコンテスト「NHK学生ロボコン」への全国大会出場と勝利を目指すチームです。毎年、与えられたテーマをクリアするためのオリジナルロボットを製作しており、全国大会に何度も出場した伝統と実績を有しています。

チームは、機械班、電気班、制御班に分かれて活動。機械班は、ロボットの機構・機体製作が主な担当で、旋盤やスライス盤などを用いて角材やアルミ板を加工し、部品を作っています。電気班は、機体に電気配線を施すほか回路設計なども行います。制御班は、プログラミングによってロボットの制御を担当する班です。この3グループが協力して、1台のロボットを完成させます。またロボコンのほかにも、地域のイベントや学校・企業の催しにも出展し、ものづくりの楽しさやロボット技術の面白さを伝える活動も行っています。

ロボコンのテーマは毎年異なりますが、2020年はラグビーが設定されています。ボールを選び、運んでトライし、ゴールの間にキックする。この動作をスムーズ&スピーディに行わなければならない。現在、最終ビデオ審査に向けてロボットを改良中。必ず審査を通過して全国大会へ出場し、好成績をおさめたいと思っています。

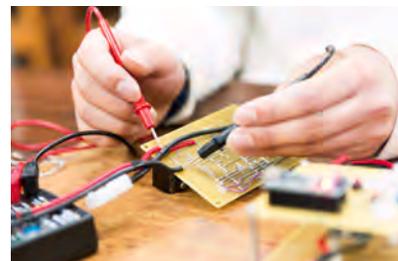


電気電子工学コース4年

坂田 尚慶

長崎県立西陵高等学校出身

工学部を有する長崎県内の大学だったこと、また、ここなら新しいこと、楽しいことに取り組めると感じて本学に入学を決めた。プロジェクトチームでは制御班に所属。電気分野も担当することから、プログラミング能力に加え回路製作の能力も身に付いたと話す。



上) 製作したロボットの「モータドライバ(モータを制御するための装置)」の電流を、テスターで計測中。

下) ロボットの動作部分のネジを締め直したり、新たな部品を取り受けたりと、メンテナンスに取り組むメンバーたち。一次審査を通過したロボットを改良しながら、本番の実機に近づけていく。